



JA金沢市 自己改革の取り組み報告

令和2年度版

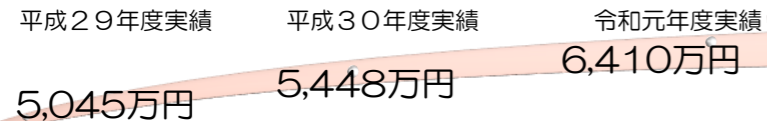
JA自己改革

JA金沢市は、「産地づくり」による農業生産の拡大と地域に根ざし、「JAづくり」を自己改革の2本の柱とし、農業の発展と組合員のくらしの向上に取り組みます。
また、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目標に、目指す姿を実現するために取り組みを実施しています。

3 地域の活性化

1 農業者の所得増大

①量販店内にインショップを設置して、産直品の有利販売に取り組んでいます。（令和元年度取組み店舗は1店舗増の計8店舗）



- ②産地直送あいのり便（貨客混載便）を平成31年2月より開始しました。
高速バスを産直品を中心とした小口農産物の輸送手段として、輸送コストの削減と販路拡大に活用し、生産者の所得アップに努めています。
- ③地元、京阪神、中京、首都圏等での事前商談会を実施。
生産者が安心して生産できる販売量の確保に努めています。
- ④農産物の6次化に組み、付加価値を高めています。
*大手企業との取組み
(金沢ももりキュール・金沢すいかカレー・加賀野菜チップスの商品開発、令和2年度販売開始予定)



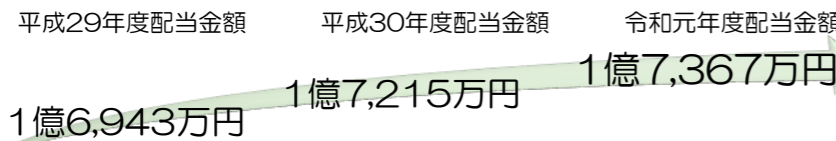
- ⑤農家の高齢化、後継者不足で離農が進む地域の生産基盤の確立、生産性の効率化を図り、地域農業を守る取り組みを行っています。
- ⑥JA独自の米穀・園芸支援策を策定し、農家の低コスト生産の取組支援を行っています。

- ⑦生産資材の価格低減に向けた取り組みを実施しています。
ホームセンター等の店頭価格実態調査を行い、弾力的な価格対応をしています。
- ⑧水稻担い手農家向けの、予約価格注文書の設定、肥料等で安価な大型規格品を作り、使用提案をしてコスト低減を図っています。

- ⑨段ボール箱に低価格資材を使用し価格の単価（六角段ボール導入で1箱あたりコスト2%カットを実現。）
秋冬大根段ボールを六角段ボールに切替え。
西瓜段ボールの六角段ボール製函試験の実施。



⑩事業分量配当における営農関係利用への配当の充実を行っています。

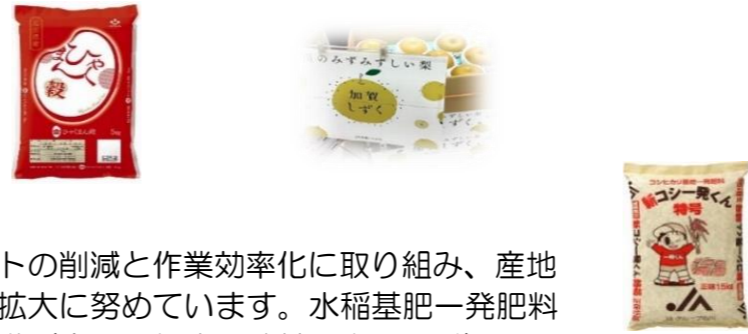


平成29年度剰余金処分における、事業分量配当において、米・種籾園芸の販売、および購買品供給高への配当の基準を増やして農業者の所得増大の一助とし、令和元年度も同基準で配当いたしました。

2 農業生産の拡大

- ①専門部署（担い手支援室）を設置し、集落営農組織及び担い手農家へ個別対応や総合的な支援を行っています。
- ②農家の要望や課題、相談等を、TAC及び各部署が、積極的に出向いて農家目線でお聞きし、意見を取りまとめ、課題解決、農業経営の反映に努めています。
- ③無料職業紹介所を設置して、担い手の労働力確保に取組み、農業生産の拡大を支援します。
- ④アグリセンター単位の集落座談会を開催しています。
(令和元年度:34会場・443名参加、平成30年度:24会場・356名参加)

- ③県オリジナル新品種の導入を支援し、産地強化に取り組んでいます。
米「ひやくまん穀」の作付拡大
(平成30年度実績67.8ha→令和元年度実績111.9ha)
梨「加賀しずく」の生産拡大
(平成30年度実績8.3t→令和元年度実績11.3t)



- ④生産コストの削減と作業効率化に取り組む、産地の維持・拡大に努めています。水稻基肥一発肥料の普及推進（令和元年度面積普及率71%）
- ⑤水田への園芸品目作付を推進し、経営の安定化と生産拡大につなげています。
(令和元年度実績99aブロッコリー・れんこん・白菜・ねぎ)

- ⑥鳥獣被害の防止対策を行政と連携して取組み、生産の確保に努めています。
- ⑦農産物の「安全・安心」の確保を図り、消費者から信頼される産地づくりに取り組んでいます。
水稻生産者・園芸共販生産者・ほがらか村産直会員を対象とした、農産物生産工程管理をJAが指導しています。

- ⑧農業金融支援
集落営農組織・担い手等の規模拡大及び設備投資・機械化等の資金を利用し易いよう事務手続等を支援し、農家の実情に応じた資金の提供ができるよう努めています。

- ①地域協同活動の開催
金沢農業まつり、スイカまつり等、地場農産物の消費拡大を推進しています。



- ほがらか村収穫体験（たけのこ、スイカ、梨、桃等）さつまいも圃場オーナー制度を実施し、農業への理解を推進しています。



- 各支店での朝市や支店まつり、家庭菜園栽培講習会等地域住民との交流を深める活動を行っています。

- ②総合事業の提供を通じた地域農業応援
金沢地もの農産物プレミアム倶楽部定期積金、農業応援定期貯金
年金友の会会員で、百歳のお祝いにほがらか村で使える商品券進呈

- ③准組合員に「農業振興の応援団」になってもらうための取り組みを行っています。「フルーツプラン」「フラワープラン」准組合員対象に旬の果物や花卉の圃場、集荷場、産直店の見学会、地元のお花を使ったフラワーアレンジの体験、地元の野菜・果物を持ち込んでの食事会などを通じ、地元農産物のファンになってもらい、その良さを広めていただく活動です。令和元年度は7回開催しました。

- ④総合事業を生かした地域に貢献するサービス
H30.9ジャコム石川 と連携して
買い物困難者への移動購買車
サービスを始めました。
令和元年度 300日稼働
売上額:26,687千円 客数:16,716人



- ⑤農業者と一緒になって、子どもや消費者に対する食育活動を更に進めて、「食」と「農業」の結びつきの大切さを知ってもらう活動を行っています。
*小学校・こども園等での園芸出前講座
令和元年度3回実施
*森と田んぼの学校（田植え～稲刈り）
令和元年度10校実施



- *バケツ稲栽培 令和元年度2校
*体験型農園（葉っぱーgarden新保本）畑・農具・種苗・肥料等全て園主が準備し、農作業を実際に体験してもらい農業への理解を深めていただく事業です。 令和元年度20区画中19区画利用

- ⑥JA金沢市の活動について皆様に広く知っていただく活動を行っています。
広報体制の充実（JA金沢市パンフレット作成
広報誌全組合員配布、HPリニューアル、新聞等メディアへの記事提供、フェイスブックやインスタグラム、LINEでの情報発信）

